

信愛館だより

Vol.129
2019年1月号

発行/ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL/0748-32-2220
FAX/0748-33-7555
http://www.shinaikan.com
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、(詩篇133の1)
なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう



「新年」

社会福祉法人近江兄弟社地塩会
理事長 亀山 謙四郎

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

過ぐる一年、多くのことがありました。先ず、前理事長そして元理事長、入居者の中からも二名の方が召されてゆかれるという悲しく寂しい時を持った年でありました。老人社会を見越し、始められたこの事業に両理事長お二方が共に仰っていたことが思い出されます。「利益を得られる或いは利益を目的とした事業ではないが、これからの世に益々必要とされ、喜ばれる事業として存在する」この法人組織を作り設けられた時から、大変な苦労を重ねられ、現在を築いて下さったこの施設を少しでも良くしてゆく努力を怠ることはできません。新たなこの年も変わることなく、その努力を以って歩んでゆきたいと思えます。

さて、その新たな年は「平成」が終わり、新たな時代を迎える年でもあります。世のうつろいと共に様々なことが起こり、また現れてくることでしょう。「有為転変」という言葉があります。有為は、様々な因縁によって生じる現象や存在を言い、人の世にあってそれが移ろいやすく、絶えず消滅して無常な事であるそうです。社会の一般的な変化を言うのでしようが、それが私達の小さな集団の中に入り込んでくる変化であれば、敏感に捉え対応してゆかなければなりません。入居者の方々の不利益、不自由、不便、不快等に繋がる何事も防いでゆかなければなりません。「一視同仁」みな平等に、差別の心を持つことなく、だれかれの区別もなく、入居者の方々お一人お一人の生活環境を守るのがこの年も変わらぬ我々の仕事です。

施設もまだまだ手を加えてゆかなければなりません。汚れが多くあり、傷みも施設機器に影響を与える程に酷くなってきました。また館内も整えてゆくには入居者の方々を含め、全ての人達の協力が必要です。この年のこの様な取り組みへの努力を皆様で支えて頂けましたら幸いです。この年も何卒宜しくお願い申し上げます。

感謝



キリスト教 あいうえお「YMCA」

近江金田教会牧師 横田 明典

昨年亡くなられた西条秀樹さんの代表曲に「ヤングマン」がありました。歌詞の中に「ワーイ、エム、シー、エー」とあり、その振付も合わせて大ヒットしたのを覚えておられる方も多いと思います。これはアメリカの「Y.M.C.A」という曲をカバーしたものです。日本でもアメリカでもYMCAとは「Young Men's Christian Association」の略で、日本語に訳すと「キリスト教青年会」となります。

YMCAの始まりはイギリスで、青年層への啓蒙や生活改善事業のための奉仕組織でした。それがヨーロッパ、アメリカに広がり、現在は120か国以上の国にYMCAがあり、教育・スポーツ・福祉・文化などの分野で事業を展開しています。

日本では1880年に東京で、そして近江八幡ではヴォーリズさんが1907年に近江八幡YMCAを設立しています。現在は滋賀YMCAとして、キャンプや文化活動など幅広く活動しています。

キリスト教が福祉や教育、文化に関わっていくことは他にもありますが、YMCAはその代表格と言えるのではないかと思います。

◆ 敬老会（9月19日）



松島信子さん他2名の方をお招きし、音楽祭を開催！！

リコーダーやよし笛の音色がとてもきれいでした♪



◆ キリン工場見学 (11月15日)



「キリン午後の紅茶ツアー」にでかけました。
製造過程などを見学し、とても貴重な
体験ができました。



◆ もみじ狩りツアー (11月19日)

胡宮神社に出かけました。
帰りには、多賀サービスエリアにも
立ち寄りました。



◆ 秋ひまわりツアー (11月21日)

絶好のお出かけ日和！
 あいとうマーガレットステーションに
 秋ひまわりを見に出かけました。
 帰りには、東光寺に立ち寄り
 綺麗な紅葉を見ることができました。



◆ クリスマスコンサート (12月11日)

クリスマスコンサートを開きました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 2019年も信愛館での出来事、行事などをたくさん伝えていきたいと
 思います。
 皆様にとって素敵な1年になることを願っています。

